

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西より発信

No. 170
【発行・編集】
MASUKI 情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田 2-6-25-113
TEL 090-3621-1509
FAX 06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう!

「一条の会」小野代表 設立を伊勢神宮に報告



一条の会小野馨子代表と松浦光修教授 (先生の研究室)

何とも濃い一日であった。平成 27 年 11 月 14 日、「憲法一条の会」小野代表が、一条の会設立を報告するため伊勢神宮に参拝した。事務局を仰せつかる不肖私、増木直美もお伴。10 時に大阪出発。12 時伊勢神宮着。あいにくの雨でしたが、伊勢神宮のいつもの特別の落ち着き、特別の爽やかさに浸りました。午後 1 時、皇学館大学松浦光修教授に面会。今後の会の運営、運動のご教示をいただく。先生のお話は後日小野代表より。代表は先生から山ほど宿題をもらい目がテン……。そして、一条の会副代表、岡崎市の杉田氏のもとへ。夕方 5 時ごろ杉田邸着。氏の仲間 6、7 名の歓待を受け、各位から日常の活動報告。そして全国の警察でどの程度祝祭日の国旗が上がっているか調査しようという決定。また、望外の喜びとして、愛知の教育を考える会の柏原文男氏が音頭を取り「一条の会愛知県支部」の設立が決定した。



柏原文男新支部長より、小野代表に携帯国旗の授与

昨日 (十月二三日)、「英霊を被告にして委員会大阪裁判結審」が結審しました。先ず、冒頭「第 7 次補助参加を棄却します。理由は今までと同じ。」実にあつてなく我々の補助参加が棄却されました。そして、原告 (半日左翼) の最終陳述。内容は、安倍 (我首相をすべて呼び捨て。先ずここで頭にくる。) が靖国に行った。これは戦争の準備だから震えがくる。「一生震えとけ!」という言葉を飲み込み、約三十分間、徳永弁護士爆睡。裁判官は「今日で終結、原告は最後の悪あがき、好きなように勝手にしたら。」そんなところだろう。それから約五分、靖国の竹之下弁護士が弁論。約四十分で閉廷。我方傍聴人は東京は一般の方が多いのに大阪は神社関係の方が多く、一般が少ないのが残念だった。

英霊を被告にして 委員会大阪裁判結審

終了後、天満宮で報告会。竹之下弁護士から「補助参加が冒頭一分で却下される。しかしその準備には相当な手間暇を要しただろう。それでも怯むことなく次から次へと第 7 次まで補助参加した。大変なことは裁判官も十分斟酌されていると思う。」という言葉をいただき、我々 (中村重行団長以下スタッフ) の方を向き頭を下げられた。大変もつたいない。今までの疲れが吹っ飛び、あちこちで愚痴っていたことを恥じた。また、竹之下先生は「五年くらいかかると思ったが、一年半で終わった」と言われた。我々は判決ではなく、原告に裁判所で長々と学芸会をさせないことを目的として今回の補助参加に臨んだ。そういった意味では我々のニイタカヤマノボレは大成成功だったと思う。そして、まさにトラトラトラ。補助参加に協力いただいた各位、ただただお礼を申し上げます。大阪裁判は平成二八年一月二八日二時判決。控訴。上告。私の言うことではないが、最終決定は平成二九年の春でなろうか。最後まで引き続き支援いただきたい。東京の (市毛良枝似のたいへん美人の) 谷口裁判長。「大阪で一年半でできたんだから東京はなぜ、一年半もかかるんだよ、さっさと頑張れよ。」と言いたくもありません。

事務局 増木直美

「M情報」は連合艦隊です。その旗艦が「NPO 法人百人の会」。さしづめ「英霊を被告にして委員会」は魚雷艇、「一条の会」は空母かな。 <<M 情報活動報告>> 編集指針：政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人たちに、「おばちゃん語」で政治を届ける

各会・グループ等からの報告

沖縄県宜野湾市民 翁長知事提訴へ

沖縄が大好きな徳永弁護士、何が何でも沖縄へ出かける口実が欲しいみたい。。。。だれだ、こんな陰口を叩くのは。アッ、ワタシか。

それはそうと、2〜3日前、辺野古で遺跡が発見されたとか。裁判の行方がちょっと心配。

※ 訴状のコピーをお預かりしています。
興味のある方はご連絡ください。

〔読売新聞〕2015年10月20日

辺野古取り消し「生存権脅かす」宜野湾市民ら知事提訴へ

沖縄県の米軍普天間飛行場（宜野湾市）の防護市辺野古への移設を巡り、翁長雄志知事が移設先の埋め立て承認を取り消したのは同飛行場を固定化させ、周辺住民の生存権を脅かすとして、宜野湾市民12人が20日、県と翁長氏に取り消しの無効確認と総額1億2000万円の損害賠償を求め、那覇地裁に提訴した。

訴状では、「承認に法的な瑕疵はなく、取り消しは知事権限を乱用した違法な処分」と主張。日米両政府が合意する2022年度以降の同飛行場返還が遅れ、騒音や事故の危険性などで生存権が侵害された状態が固定化するとしている。

弁護団によれば、原告は最終的に100人以上に増える見通しという。徳永信一弁護士は「国と県の対立で、普天間飛行場の移設や返還の出発点の基地被害者が置き去りにされている。訴訟を通じて、周辺住民の声を発信したい」と話している。

おつるさんのブログより 「韓国」日本の韓国入学校が「日本海」表記の地図を使用

<http://blog.zachne.jp/otsuru/>
おつるのブログより

在日韓国朝鮮人のみなさま、韓国入学校は、さすが、日本の補助金を受ける資格がありますね。日本政府の判断は正しいので。左翼マスコミ韓国・KBSテレビの批判に屈せず、日本にある学校なのですから「日本海」表記そのままをお願いします。偏向反日教育をしている朝鮮学校とは違います。朝鮮学校は民族教育ではなく、北朝鮮・金政権賛美反日教育です。民族教育と正しい教育を受けたければ韓国学校で学びましょう。朝鮮総連関係者はお断りされるだろうけど。

2015年10月22日(木) サンケイ

【韓国】日本の韓国入学校が「日本海」表記の地図を使用

2015年10月20日、韓国・KBSテレビは、韓国教育部が進める歴史教科書固定化により韓国中が揺れる中、その教育部が管理する在外の教育機関で「東海」を「日本海」と表記するなど不適切な地図が使用されていると伝えた。

教育部の傘下である東京韓国学校（東京・新宿区）のホームページの地図では、韓国で「東海」とされるべき地名が、ハンブルで「日本海」と表記されていた。

また、韓国が主張する呼称「独島」ではなく「竹島」と記したグーグルの日本版や英語版地図をリンク使用しているサイトがあることも分かった。

「地方都市発世界の常識 北駐大阪経済文化弁事処 蔡明權処長ご講演

11月7日午後、吹田市市民会館で台北駐大阪経済文化弁事処蔡明權処長（総領事）の講演があった。処長とは何回か面識はあるが、落ち着いて話を拝聴するのは初めて。いつも講演会は楽屋裏で走り回っているから、めったに落ち着いて話を聞けない。客として話を聞くのもいいもんだ。

この講演は吹田日台交流協会が発足し、その発会式のようなもの。理事長は元吹田市市長の阪口さん。阪口さんの事務所は2Fで、私の事務所は3F。阪口さん御自ら案内書を持ってこられたのでいかにいわけにはいかない。階段封鎖をされたらマスキンは一巻の終わりなのだ。

この阪口元市長、実は今から十数年前百人の会特別顧問の中山成彬先生が現役大臣の時に、同会の総会の楽屋裏で、疲弊した吹田の教育の現状を直訴した浅野校長の実兄。

さて、話の本題。台湾は台湾。中国に飲まれることはあり得ない。一つの中国は認めない。安倍首相は靖国に行かなかつた。中国の反対があるから。中国の反対は形だけなんです。反対しないと認められない。日本人まじめすぎる。中国の言うことをまともに受け取ってはいけません。そして玉串を奉納することに異議を唱えてきた。どんどんエスカレートする。これが中国だ。そして最後に、台湾が中国に飲まれることはない。と断言した。

人数も百人程度と家族的な集会だから、処長の口もゆるんだのかも知れない。しかし私は「台湾は大丈夫だ！ 中国に飲まれることはない。」と感じた。処長

は公人。台湾を背中に担いでいる。おいおい、台湾と中国が戦争になったらんぞ！
各国にいる日本の大使、領事にもこのくらいは言ってほしい。
講演後処長に「ありがとうございます。まさか『靖国』という言葉が出てくるとは思いませんでした。処長のお話に震えています。」と申し上げたら笑っておられた。
我々は靖国を快く思っていない連中と法廷で争っている。そこに大勢の台湾の方が応援に駆け付けてくれている。台湾の方にとっては我々以上に『靖国が身近なものなんだ』と感じました。 増木

憲法一条の会 拝啓仲代達矢様、他

平成27年11月9日
無名塾 仲代達矢さま

憲法一条の会 代表 小野馨子

紹介・挨拶・・・略

先ずは、文化勲章受章、真におめでとうございます。仲代様の長年の活動が高く評価されたものとして、ファンの一人として心より喜び申し上げます。

さて、それはそうとしまして、先日3日、皇居において文化勲章の親授式が開かれました。報道で知ったのですが、仲代様は勲章を授与されたにも関わらず、この式典を欠席されました。欠席の理由は「3年前から決まっていた舞台公演のため」とのこと。しかし、天皇陛下から直接勲章をいただけたという、日本人としてこの上ない名誉である親授式に欠席されたことは到底理解できません。観客への配慮を踏まえ、公演に穴を開けぬよう日程や時間を調整することはできな

かったのでしょうか。「役者は親の死に目にも会えない」などと言いますが、まったく重みが違うと思います。

舞台公演は大切な文化的活動ではあることは重々承知してはいますが、我が国において、どのような用事よりも、国の象徴であらせられる天皇陛下から直接、文化勲章を賜るといふ名譽ある式典への出席は、何よりも最優先させなければならぬことは言うまでもないことと思えます。親授式出席のための公演の日程、時間変更等があっても、観客は皆、喜んで納得するのではないのでしょうか。勲章を賜りつつ、天皇陛下がお出ましになる式典に欠席したということは、日本国憲法において国の象徴と定められた天皇陛下および皇室の伝統をあまりにも軽視したものでないか、と言わざるを得ません。遺憾の極みであります。仲代様のお考えをお伺い出来れば幸甚に存じます。

仲代達矢氏の親授式の欠席に関し、一条の会でも議論が百出した「おかしい。」「やむを得ない。」「今年は辞退し、来年に回していただく話はできるだろう。」等々。そんな事情があり、控えめな文言で質問状を作成した。なお、仲代氏は後日NHKで、「大反戦の作品を作りたい。」と話していることを付記します。マスキ

一条の会参加者、北田氏からの情報

略.....

皇室への不敬風潮に対する皆さまの憤りには、小生も全く同じ思ひであります。皇室に係る不敬言動については、その程度は年々増悪の一途であり、もはや「言論の自由」と能天気なことを言っている時期ではありません。

殊に現在蔓延してある、東宮殿下・同妃殿下への誹謗中傷には強い悪意が感ぜられ、かつて皇后陛下へ浴びせられた

誹謗中傷と酷似してをります。

また、他の皇族方への批判等も同質であり、これらは全て皇室の尊厳性を貶むる意図によるものと思はれません。皇室への不敬言動や批判は、皇室への尊厳性を貶むることにより、わが国民の皇室への敬愛心・崇敬心を低下喪失せしめ、究極において皇室を廃滅に至らしめんとする反日左翼勢力の策動です。しかも、こともあろうに、その策動に、保守派を自認するものの一部が同調するに至っては言語道断。

今こそ、良識ある国民が反撃の声を挙ぐべき時機であります。小生もとり改憲論者ではありますが、貴会御趣旨に全面賛同いたすものであります。

なほ、皇后陛下にかかる尊称について、かつて小生がZエヌエスに対して呈出した質問状とその回答の写しを参考までにお送りいたします故、御参照下されば幸甚に存じます。.....略.....平成27年10月27日

Zエヌエス放送センター
「風のニュース」係 御中

札幌市 北田 徹

Zエヌエス放送に関する疑義について(質問)
時下、Zエヌエスの皆さまには益々ご清栄の趣、大慶に存じます。

さて、平成26年1月15日正午からの「お風のニュース」の内容に、下記の疑義がありますので、御多忙中恐縮ですが、これについて御教示願います。

「歌会始め」の報道において、天皇陛下の御製の紹介にあつては、アナウンスも字幕も「天皇陛下」とされていましたが、皇后陛下の御歌の紹介にあつてはアナウ

ンヌも字幕も「皇后さま」とされてしました。私見では、皇后の尊称は皇后陛下とするのが正当と思料しますが、なぜ、皇后の尊称を「陛下」ではなく、一般敬称にすぎぬ「様」とされたのか、この理由についてご教示ください。 挨拶等略
平成26年1月20日

北田徹様
挨拶等略

皇室への敬語につきましては昭和22年に、宮内庁と報道機関との間で

「これからは普通の言葉の範囲内で最上級の敬語を使う」ことで、基本的な了解が成立しています。また、昭和27年の国語審議会の「これからの敬語」という答申にも同様の考え方が盛り込まれ、これがマスコミの基本方針となって現在も続いています。ただ、戦後半世紀を過ぎ、日本人の敬語に対する考え方、皇室報道が大きく変化してきていることを踏まえ

Zエヌエスは皇室への敬語につきましては、できるだけ平易で簡潔であることを基本的に考える方として、親しみのある敬語を使用しています。

使用にあたっては、敬称も含めて耳から入るメディアの特性を考慮し、耳障りでない、違和感のない表現になるように心がけています。具体的には、ニュースなどでは、皇族の方々への敬称は、原則として、「さま」を使っています。

天皇陛下については、日本国の象徴という立場から「天皇陛下」としており、天皇陛下と皇后さまを一度に紹介する場合は、「天皇皇后両陛下」としています。以上、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

Zエヌエスハートプラザ投書係の
お店に買い物に行った。そこは駐車禁止

店のおばさんに「車止めていい？」と聞く。「いいよ」と言ったら、車を停めていいの。良いわけがない。駐禁は駐禁。宮内庁が許可を出すこと自体が越権で、法破り。同様に国語審議会もおかしい。
マスキ平

小野代表と中山重行北山の神主の迷問答！? 神へのお願いの作法

小野代表

友人と話していて、「神社では、個人的なお願い事をしたらあかんのよね」という話になり、西行法師の話になりました。「何事のおはしますかほくらねどもかたじけなさにみだにほるる」

西行法師はこの歌で伊勢神宮のことを歌っています。そこには誰がおられるかわからないがそのありがたさに涙がこぼれてくる歌だったと伝えられています。

お願いごとではなく感謝を奉納するのが神社での正しい振る舞い。仕事に追われて余裕が無い、体調が思わしくない等人間はその存在をありがたく感じつつもどこかで条件が合わず、なかなか伊勢神宮に参拝できない。あるいは深刻な病氣や他に心配事があれば、例えば病気の治癒で有名な神社を探そうとするものです。「他の神社ではなく、伊勢神宮に来ることができる」ということ自体が幸運である意識し、感謝の心を奉納するという当たり前の振る舞いを周りに伝えていきたいものですね。

宮司、答えて頂く

現在の神社信仰の原点は「困った時の神頼み」でしょう。神道には小難しい教義はありません。

「神社では、個人的なお願い事をしたらあかんのよね」よく聞く言葉ですが、こんな事は何処かの宗教家面した奴が言った言葉でしょう。これから言えば誰でも

神様には「天下国家」の願い事しか出来ない事になってしまします。对人関係においていきなり自分の願いだけを押し付けたら誰でも不愉快。神様も人も気持ちと同じだと言う事が判っていないのです。まず神様に日頃の感謝をして、自分の願い(覚悟)をお願いする事が順序です。私は個人として神社にお詣りした時は「祓えたまえ、清めたまえ、元気に生かして頂きましてありがとうございます。」と心の中で唱えています。日頃の感謝と願いで充分と思えます。

昔から緊急時の個人的な願い事の方法に「お百度参り」があります。毎日のお参りでは追っ付かない差し迫った祈願に本殿のまわりを1度まわりお願いをし、2度廻って同じ事をお願いする。連続百回もお願ひされると神様も根負けして願ひを叶えて下さると言う。これなどは究極の民間信仰でしょう。

「神人和楽」と言う言葉もあります。日本の神様は恐ろしい神ではありません。祭りの原点もこの「神人和楽」です。何も難しく考える事もありません。

草莽の記(杉田謙一)より 大東亜共同宣言

<http://blazarakuten.co.jp/seimeisugata/H27-1-1-6>

今日十一月六日は大東亜共同宣言が採択された記念日であります。昭和18年のこと。重光葵(まもる)外相が発案、外相と加瀬俊一氏が起草され、東條閣下の了解の下、会議に参加した各国の皆さんの全会一致で採択された宣言であります。日本の戦争目的が明示された人類史上初めての黄色人種の会議の集大成であったのです。

この会議参加者は、東條英機(日本)、汪兆銘(中華民国)、張景惠(満州国)、ホセ・ラウレル(フィリピン)、バー・モウ(ビルマ)、ワンワイター・コーン(タイ)、インドからは、日本と協力しインド全土のイギリス(イギリス領インド帝国)、チャンドラ・ボース(インド)。皇居にて陛下に謁見された後、和氣謫々と会議が進み六日にこの宣言となったのです。

大東亜共同宣言

抑々世界各國力各其ノ所ヲ得相扶ケテ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ世界平和確立ノ根本要義ナリ。然ルニ米英ハ自國ノ繁榮ノ爲ニ他國家他民族ヲ抑壓シ特ニ大東亞ニ對シテハ飽クナキ侵略擧取ヲ行ヒ大東亞隸屬化ノ野望ヲ逞ウシ遂ニ大東亞ノ安定ヲ根柢ヨリ覆サントセリ大東亞戰爭ノ原因茲ニ存ス。大東亞各國ハ相提携シテ大東亞戰爭ヲ完遂シ大東亞ヲ米英ノ桎梏ヨリ解放シテ其ノ自存自衛ヲ全ウシ左ノ綱領ニ基キ大東亞ヲ建設シテ世界平和ノ確立ニ寄與センコトヲ期ス。

大東亞各國ハ協同シテ大東亞ノ安定ヲ確保シ道義ニ基ク共存共榮ノ秩序ヲ建設ス大東亞各國ハ相互ニ自主獨立ヲ尊重シ互助敦睦ノ實ヲ擧ゲ大東亞ノ親和ヲ確立ス大東亞各國ハ相互ニ其ノ傳統ヲ尊重シ各民族ノ創造性ヲ伸暢シ大東亞ノ文化ヲ昂揚ス

大東亞各國ハ互恵ノ下緊密ニ提携シ其ノ經濟發展ヲ圖リ大東亞ノ繁榮ヲ増進ス大東亞各國ハ萬邦トノ交誼ヲ篤ウシ人種的差別ヲ撤廢シ普ク文化ヲ交流シ進ンテ資源ヲ開放シ以テ世界ノ進運ニ貢獻ス

是こそが日本の戦争目的だったので。さて、少し我が国の歴史をふりかえっておきます。日清戦争の結果我が国は遼東半島台湾を統治するようになり賠償金をてに入れた。然るにロシアはフラン

ス・ドイツを率いて日本に遼東半島の放棄を迫った。政府は正統な戦勝の権利としてこれを拒否したかったが、いかにせんロシアを相手に戦を起しても勝つ見込みなどなく、苦渋の決断を迫られ、これを放棄せしめられたのであります。10年後には臥薪嘗胆の結果ロシアの覇権を打ち砕いたのでしたが、この時は国力の違いも歴然としていたわけでした。台湾はしかし是も厄介な存在。引渡し条件として、統治された状態での台湾割譲のはずであったのですが、全くの虚偽。荒れ狂う大衆の抵抗は波ではない。しかし明治天皇の一視同仁の御姿勢に答えるべく忍耐強く統治を進めて行くのであります。その後、1929年には米国の経済政策の怠慢から世界恐慌が起こり、もたざる国日本は大陸に経営に全力を尽くすのだった。

1931年に満州事変が勃発。この満州には張作霖学良率いる軍閥が庄政を敷き満鉄の各駅を襲撃すること年に数百万。日本は張軍閥に対する力を持って対峙することしかなかった。1万の兵力で住民の防衛は出来ない相談だったのであります。其の直後満州国の建国となるのですが。しかし、それは台湾での粘り強き教化策同様、丁寧なこれを支援したのであります。襲われない国の成立に満蒙の人々は大いに期待し、多くの人口も流入したのであります。やっと張軍閥の理不尽な弾圧がなくなった住民は夢と理想を新天地満州国に、託したのでした。

さてこの会議で満州国の総理張景惠氏は「わたしはこの機会に10年前にわが満州国が最初の真の東亜的なる自覚を有する振興国家として建国せられたることを回顧し、深き感慨なきを得ないものであります。私もまた抑え難き熱情を持って建国に参画したのであります。当時満州において最も欠けて困ったものは道義に基づく政治でありました。したがっ

て民衆は何ら理想ある目標に指導せられ組織せられることなく、国土は荒廃し、軍閥の封建政治による無秩序なる苛斂誅求が行われ、何らの自由性創造性も無き典型的なる虐げられたる東亜の様相を呈していたのであります。」「当時の満州の支配者として人民にあくなき搾取を加えつつあった張学良軍閥が米英の東亜攪乱政策に乗せられて露骨なる反日態度に出たのに対し、日本が敢然起って張軍閥を打倒した結果、ここに真に国民を向上し、国土を発展せしむべき自主的なる道義國家の樹立に、三千万民衆の総意が翕然として集まったのは当然ことでした」の言葉を残しています。そう、習近平氏が、邪悪な日本、を正義の中国が倒したなどの解釈を打ちたてようと世界に金をばら撒きながら外遊していますが、とんでもない。中国には辛亥革命がおきたとはいえ、統一できたとはとても言えず権力闘争の真っ只中。軍閥の割拠する状態だったので。結果共産毛沢東が天下を掠め取りました。中国国民は弾圧と庄政に塗炭の苦しみを覚えていたのが現実。松井大将が南京入場をして治安が成り、庄政が終了したことを中国国民は大いに喜び南京にすぐさま店が開かれた事を見ても大衆の喜びが大きかった事がわかります。そもそも盧溝橋で戦争を仕掛けたのは共産党。大戦争へと導いたのが習氏の自家であったのですから何をか言わんです。建国以来どれだけ自国民を殺し続けたのか、胸に手を当てる振り返ってもらいたいです。

卑劣な歴史捏造をする共産チャイナやウオーギルトインフレーションを未だに日本人に植え付けようとする米国などにごまかされず、日本人が自ら生きてきた本来の歴史に立ち戻るべきでありましよう。共同宣言の完全実施を成し遂げる責務は現代に生きるわれらに託されているのです。

今日の新聞報道・ユネスコ等

小学校の廊下に政治ピラ「アベ政治を許さない」掲示：堺市の学童保育の主任指導員に口頭で注意

2015.9.4.20152 更新 サンケイ

堺市内の市立小学校で学童保育の主任を務める50代の男性指導員が、廊下や教室に安保関連法案の反対運動に使われる「アベ政治を許さない」と記したピラを掲示していたことが分かった。市教委は「政治的中立性を損なう行為」として、運営を委託する市教育スポーツ振興事業団に対応を求めている。学校現場で特定の政治的主張を子供たちにすり込もうとする行為に批判が集まりそうだ。

市議会本会議で自民党の西村昭三議員の質問に、教育次長が認め、謝罪した。市教委によると、「ピラはA4判とA3判の計2枚で、指導員が7月21日、漢字にふりがなもつけ、自身の名前を記して学童保育「のびのびルーム」の教室と廊下に掲示。8月21日に学校を訪問した市教委の職員がピラを見つけた。事業団側がピラを撤去するよう指示したが、「個人のものをはがしていいんか」と抵抗。上司が口頭で注意した上で、翌22日に撤去した。

指導員は平成14年から同校で学童指導員を務め、現在は指導員約20人を管理している。

地下鉄で中1死亡「学校でいじめ」遺書か 日テレ (NNN) 11月2日

1日、名古屋市営地下鉄の駅で中学1年の男子生徒が電車にはねられ死亡した。自宅からは、いじめについて書かれたような遺書が見つかったという。

警察によると、1日午後4時ごろ、地下鉄鶴舞線の「庄内通駅」で中学1年の男子生徒(12)が上小田井発、赤池行ききの電車にはねられ、その後、死亡が確認された。自宅からは「僕は学校でいじめが多かった。だから自殺しました」などと書かれた遺書のようなものが見つかっていて、通っていた名古屋市内の中学校では、2日前から全校集会が開かれ、経緯が説明された。

学校などによると、男子生徒が変わった様子はなく、前日の先月31日も部活動に姿をみせていたという。

名古屋市教育委員会は2日午前、会見を開き、これまで学校からいじめについての報告はなかったとしたうえで、男子生徒が死亡した経緯について調査をはじめるとしている。

いじめで自殺。また子供が亡くなった。また、いじめがあったのなかったのか、学校は知っていたのか知らなかったのか、バカとしか言いようのない不毛な調査が始まる。

弱いものは排斥される。人は動物、種の保存が働くのだ。これは感情でも情緒でもなく、科学だ。「死」をなくすには、いじめに堪えない強い子を作る以外に方法はない。「いじめが悪い」と言っているのは永遠に「いじめ」による死者が出るだろう。建前論ではなく、いい加減に本音論でそのところをわかれよ。 マスキ

記憶遺産審査見直し、ユネスコ着手 事前協議案 読売 11月1日

【パリ11月1日】国連教育・科学・文化機関(ユネスコ)が、世界記憶遺産の登録手続きの見直しに着手したことが分

かった。複数の関係者が明らかにした。登録候補の文書の内容に複数の国が関与する場合、関係国で事前に協議した上で申請する仕組みを義務化する改革案が検討されている。来春のユネスコ執行委員会での改革案が承認されれば、次回2017年の記憶遺産の選考から適用される可能性がある。

「歴史直視し未来志向で」中韓首脳 時事通信 11月1日

【ソウル時事】中国の李克強首相は1日午後(日本時間同)、日中韓首脳会談後の共同記者発表で歴史問題に関し、「歴史を直視し未来志向で、歴史の敏感な問題を善処する原則の下、日中韓3カ国の協力を発展させていく」と強調した。

韓国の朴槿恵大統領も「歴史を直視し未来志向の精神を土台に、地域の平和に努力する」と述べた。

仙台いじめ自殺 副大臣が市教委 対応を批判 河北新報 11月の日

仙台市泉区の館中1年の男子生徒11当時(12)が昨年6月、いじめを苦に自殺した問題で、義家弘介文部科学副大臣は9日、文科省で大越裕光仙台市教育長と会談し、加害生徒による遺族への謝罪を求め自殺の事実を当初公表しなかった対応を検証するよう指導した。いじめ問題をめぐり文科省副大臣が地方教育行政のトップに直接指導するのは極めて異例。

政府、歴史認識を巡る中台の対日共同を警戒 2015年11月08日 読売

日本政府は、中国、台湾両首脳の会談

が、東アジア情勢の緊張緩和につながるのではないかと期待する一方、歴史認識などを巡る中台の対日共同を警戒している。安倍首相は台湾への関心が強く、中国への接近が今後も続くのか慎重に見極める意向とみられる。

日本政府は「台湾海峡の平和と安定は、地域、世界にとって極めて重要」(菅官房長官)として、中台が平和的な関係を維持することを歓迎している。

ただ、馬英九政権が中台連携を重視するあまり、南シナ海での中国の海洋進出に対して発言を控えるなど中国への配慮を強めるのではないかと懸念は根強い中国、台湾がともに領有権を主張している沖縄県・尖閣諸島の問題でも歩調を合わせる可能性があり、政府高官は、「東シナ海にしても、南シナ海にしても各国が連携して中国を食い止める努力をしてきたのに、状況が変わる可能性がある」と指摘する。

慰安婦問題、11日に日韓局長級会談 TBS 11月10日

いわゆる慰安婦問題をめぐって、日韓首脳会談後初めてとなる外務省の局長級の会談が11日、ソウルで開かれます。

今月2日に行われた3年半ぶりの日韓首脳会談で、安倍総理と朴槿恵(パク・クネ)大統領は、慰安婦問題の早期妥結に向けて「交渉を加速させていく」ことで一致しました。これを受けて、日韓の局長級の会談が11日にソウルで開かれます。

朴槿恵大統領は10日、閣僚を前に、改めて問題の解決を指示しました。

ただ、日本政府は50年前の日韓基本条約などを根拠に「法的には解決済み」との立場を崩していません。韓国側も「被害者が納得できる解決策」などと具体的な要求は避けている。

各議会からのレポート

吹田市議会 新選会 足立将一

教育の目的は何か。「自分で生きていく力をつける。」これ「生きる」と思います。足立議員の質問は教育とは何か、その神髄をついた質問だと思えます。まさに、百人の会の、百人の会員による、百人の会の為の質問です。ちよっと誉め過ぎ・・・かな？

【平成27年7月定例会(07月28日)】

◆6番(足立将一議員) 皆さん、おはようございます。

吹田新選会、足立将一、戻ってまいりました。

教育環境の重要性

それでは次の質問に移ります。

まず、教育施策についてでございます。市長は施政方針において幼、小、中で受ける教育は総合的人間力を培う重要な時期と述べられております。また職員採用の部分においても人間力という言葉が使われております。この人間力という言葉、最近特に耳にすることが多いのですが、数値化できないものであり、人によつては定義が異なることもございます。市長は人間力ということを重視されているように感じますが、子供たちが培うべき人間力とはどのようなものか、また、職員に求められる高い人間力とはどのようなものか、それぞれお示しいたできますようお願いいたします。

○吉瀬武司副議長 市長。
(市長登壇)

後藤圭二市長 人間力という表現をさせていただきます。これは、さまざまな力がありますが、偏らず、総合的な力という意味を含めて表現をさせていただきます。おりまして、一般的な定義によりまして、社会を構成し、運営することにも自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力とされており、年齢にかかわらず必要とされるものでございます。

御質問にございました、まず、本市の職員を希望する若者に求めたい人間力といたしましては、まず、基本的な資質として、組織人として働く、その資質でございます。これは当然ですが、その上で、公務につく上で高いコンプライアンス意識を持つ、それから市民に寄り添う心、それと、これも企業でも共通なんです、みずから高め続ける向上心、これを必要だと思っております。

一方、子供が担うべき人間力といたしましては、そのような大人になる、その過程におきまして、確かな学力、そして豊かな人間性、健康や体力、倫理観、これらがバランスよく発達をする、総合的な人としての力、それが必要であると考えております。

以上でございます。

○吉瀬武司副議長 6番 足立議員。

(6番足立議員登壇)

◆6番(足立将一議員) ありがとうございます。私も政治家というものは、人々の模範となるべき存在と考えております。私も努力しますし、また、職員の皆様におかれましては、若手の職員に求められる人間力、それをしっかりと模範を部下の職員の皆様(示す)に

たできますように、どうぞよろしくお願いたします。

私は大学生に対して議員インターンシップという形で学び場を提供しており、市長と同じように人間力を伸ばすことに意識を置いております。その際、縦軸と横軸と志をキーワードにしております。

縦軸とは過去を知り、未来に思いをはせる時間軸のことでございます。そのために歴史教育を大事にしており、歴史の流れを捉え、今、自分はどういう時代に生きているのかを考える機会を提供しております。

横軸は、今、自分が置かれている社会的环境です。それは家族から始まり、地域、自治体、国、国際社会と広がるもので、今、自分がどのような社会を生きているのかを考える機会を提供しております。この縦軸と横軸を持つことができれば、自分がどんな時代のどんな環境で生きているのかを把握でき、アイデンティティを形成する大きな要因となります。

これらをもとに、古典や思想、哲学を学びながら、これから自分の力を使ってどのような役割を果たすべきか、誰のために、何のために生きるのかという志を立てる機会を提供します。この志が立てば、学び意義やスキルを伸ばす必要性にみずから気づくことができます。その結果、積極的に学び、行動することにつながっております。

以上が、私が大学生に対し人間力を培うために提供している教育の機会です。

さて、市長に伺います。先ほどお示しいただいた市長の定義する人間力、それを培うためにはどのような教育が必要だと考え、その教育環境を整えるためには具体的にどのようなことが必要と考えますか。職員と児童、双方についてお答えください。

○吉瀬武司副議長 学校教育部長。

◎富田卓己学校教育部長 人間力を培うために必要な教育と教育環境について、市長に伺うことですが、学校教育部よりお答えいたします。

子供たちが新しい時代を生き抜くために求められているものは、総合的人間力の育成を図ることになります。本市では、中学校ブロック全体で目指す子供像を共有し、小中一貫教育を積極的に展開し、思考力、判断力、表現力などの確かな学力、思いやる心、感動する心などの豊かな人間性、さらにたくましく生きるための健康や体力などの育成を図る取り組みを推進しております。

確かな学力の育成には、子供たちが学ぶ楽しさや喜びを実感し、みずから学ぶ意欲の醸成を図るため、授業改善を柱とした教員の授業力の向上を図ることが大切です。

また、豊かな人間性の育成には、互いに尊重し合える人間関係、集団や社会、自然とのかかわりなどの体験活動を通して、自分の生活や価値観を見直し、倫理感や規範意識等の**道徳的実践力を**養うことが大切です。

健康や体力の育成には、意欲的に運動することができるための体育の授業や部活動等の充実や、**基本的な生活習慣を確立する**取り組みをさらに推進していくことが必要です。

今後とも、小中一貫教育の一層の推進を図るとともに、子供たちの豊かな学びと心を育む教育を推進してまいります。

以上でございます。

○吉瀬武司副議長 市長。

(市長登壇)

◎後藤圭二市長 ただいま縦軸と横軸という例えて御説明をいただきました。私も全く同じ考えでして、これは言いかえる時間と空間ということになるかと思えます。来し方、行く先を知る、そして今を知る、それと他を知る、この三つの

知をもとにして志を持たなければ独善的になる、また、その志を実現することはなかなかできない、そのように全く同感をするところがございます。

そのような基本的なところを押さえた上での人間力、その要素につきましても、大きく三つに整理をされているようです。

一つが知的能力、二つ目、社会・対人関係力、そして自己制御力。そのうち、自己制御力は知的能力と社会・対人関係力を十分に発揮するための基礎となるもので、**これが家庭教育や地域教育、**自学で獲得できていなければ、教育効果は十分に発揮されないと考えております。

そういう意味では教育現場においては義務教育における指導の一貫性、継続性、具体的になんですが、教室の人数、また、ノウハウ、外部人材の活用など德育に今以上に力を入れることができる環境の整備が、また、職員の人材育成につきましても、各職場でのOJTを担うトレーナーのレベルアップや、資格取得や庁内外の研究活動の奨励、国を初め他の組織に身を置く経験などが有効であると考えており、力を入れていきたいと存じます。

以上でございます。

○吉瀬武司副議長 6番 足立議員。

(6番足立議員登壇)

◆6番(足立将一議員) ありがとうございます。非常に深く考えていただきました。その環境をぜひ教育委員の皆様と協力して、子供たちに提供していただければ、よろしくお願ひいたします。

教科書問題

次に、教科書採択についてでございます。4年に1度の中学校教科書の採択の時期がやってきました。今回は教育委員会委員のかかわりという観点から質問させていただきます。

教科書採択は現場の教師からなる調査員により教科書内容の調査報告書が作成

され教育委員会から諮問を受けた選定委員会に提出、その後選定委員会が答申を行い教育委員会により採択される教科書が決まります。選定委員会の役割と教科書採択において教育委員会委員に求められることについて御説明ください。

○吉瀬武司副議長 学校教育部長。

◎富田卓己学校教育部長 選定委員会の役割は、吹田市義務教育諸学校教科用図書選定委員会規則第2条に基づき、吹田市教育委員会の諮問に応じ、義務教育諸学校の教科用図書の選定について調査審議し、答申することです。

次に、教科書採択において教育委員に求められることについては、文部科学省の教科書制度の概要に基づき、教育委員が大府の選定資料及び本市選定委員会答申等を参考に調査研究した上で、採択に係る意見を述べるとともに適切な採択を確保することが求められています。

以上でございます。

・略

(6番足立議員登壇)

◆6番(足立将一議員) 教育委員の皆様は本当に非常にね、勉強していただいて、そして、意見を出していただいて、教科書を採択していただいているという状況がよくわかりました。

今回ね、教科書採択において、なぜこんなに触れているかと申しますと、先ほどもおっしゃっていただきましたけど、特に考えていただきたいのが歴史教科書についてでございます。歴史の授業ではそれを伝えるツールや教師によって、子供たちの歴史認識に大きな影響が与えられます。

自国の歴史認識はグローバル化が進む世界においてアイデンティティ形成に非常に重要な役割を果たします。歴史教科書においては見やすさ、読みやすさ、特にね、最終の採択の場ではそのようないろいろなことが非常に触れられておるんですけれども、それだけではなく、さま

ざまな事象に対してどのような描き方をしているのか、そして、取り上げられている人物の数などに着目して選んでいただきますように、どうぞよろしくお願ひいたします。これは要望でございます。

教育人事権の移譲

次に、教員人事権の移譲についてでございます。市長が大事になさる子供たちの人間力の育成、それにはそれを指導する立場の人間、つまり教師の人間力向上も当然求められます。吹田市を初め三島地区は教育レベルが高く、独自に採用すること倍率が高まり、優秀な人材を採用できると思います。また、研修等の充実を図ることができる考え人事権移譲を積極的に進めるべきと考えております。

前政権では中心施策に掲げていたもの、やる気がなかったのか、調査だけで終わってしまいました。この施策については市長の強い意志と他の市長を説得し、巻き込んでいくリーダーシップが必要となります。後藤市長なら実現できると期待しておりますが、今後の方向性についてお聞かせください。

○吉瀬武司副議長 学校教育部長。

◎富田卓己学校教育部長 教職員の人事権の移譲につきまして、市長にこのこと

でございますが私が御答弁申し上げます。教職員の人事権につきまして、大阪府は市単独ではなく、複数の市町からなるブロック単位への移譲を原則と定めているため、本市では、三島地区を一つのブロックとして移譲を受ける必要がございます。これまで三島地区教育長協議会

において、先行する豊能地区の取り組み状況の共有と今後の方向性についての協議が行われてまいりました。

人事権を持つことにより、本市が求める資質能力を有する人材の確保や地域に根差した特色ある研修の実施などが可能となるなどのメリットがございます。

しかし、今後、児童・生徒数が減少することから、教職員が過員となり、また、教職員の年齢構成から管理職が不足する状況が考えられ三島地区の各市町で同意に至っていないこともあわせてブロック単位では解決が困難な課題がございます。このように将来的な状況から、教職員人事権の移譲を受けることは考えておりません。以上でございます。

○吉瀬武司副議長 市長。(市長登壇)

◎後藤圭二市長 地方分権をする上で、教職員の人事権は市町村へ移譲する方向が望ましいという、そのような方向性を中央教育審議会答申や、地方分権改革推進委員会第1次勧告でなされたことを受けまして、大阪府も市町村への移譲を進めてきたものでございます。

それにより、義務教育の実施主体である市の権限と責任が明確になる一方で、ただいま部長からも説明をさせていただきましたように、一定の課題も抱えることにつながるため、現在、本市といったしましては、教員の人事権移譲を積極的に求めるための動きをする状況にはないと考えております。以上でございます。

○吉瀬武司副議長 6番 足立議員。

(6番足立議員登壇)

◆6番(足立将一議員) 非常に残念でございます。教育施策を中心に置く吹田新選会といたしましては、前々任期からずっとこの教員人事権の移譲については申し上げておりましたが、前任期でようやく実現が見られるのかなと思っただけど、また後戻りしてしまいました。以下略

昨日(十一月八日)、大阪府知事選松井一郎候補の応援で、倉田箕面市長が箕面で三三講演。その中で、「箕面市は数年前から、独自で教員を採用している。」という話がありました。大阪府内で3市2町、全国でもここだけのことらしいです。

新書紹介

三島由紀夫が生きた時代
盾の会と森田必勝 村田春樹

プロローグ
平成二十五年十一月、二宮報徳会の招きで靖国会館において講演をする機会があった。

講演冒頭、私は三島由紀夫と共に蹶起して自決した森田必勝さんについて聴衆に尋ねた。

「森田必勝さんをご存じの方は手を挙げて下さい」

手を挙げたのは約半数に過、ぎなかつた。約百五十人の聴衆は皆所謂「保守派」の人たちである。年齢層も高く、しかも「憲法を改正し自衛隊を国軍にすべき」と考えている人たちの集まりのほうだ。



志士達が生きた時代と
後世に遺したもの
序文 西村幸祐
第一章 ナンパ系全学連が楯の会へ
第二章 楯の会第五期生
第三章 昭和四十五年十一月二十五日
第四章 取り残された者たち
第五章 三島・森田蹶起と日本の運命
その後の楯の会
付録 三島由紀夫「敵」全文

私は愕然とした。昭和四十五年の蹶起からその時点で四十三年。あの蹶起以来、私は内心「何十年経っても毀譽褒貶甚だしいだろうなあ」と思ってきた。しかし予想は大きく外れた。毀譽褒貶どころか森田さんは完全に忘れ去られようとしている。

このままで良いのだろうか。末席とはいえ楯の会の会員だった自分にやるべき事はないのか。三島先生の蹶起の時の会員に対する命令書に「三島はともかく森田の精神を後世に向かって恢弘せよ」とある。もとより楯の会随一のヘタレ、怯懦、弱卒の私などに、森田さんの精神を恢弘する事などできはしない。しかし後世に「こういう素晴らしい青年がいたんだ」と語り遺したい。一人でも多くの方に森田さんの存在を知っていただきたいと思いますように思ってきた。

この日初めて私は三島由紀夫先生と森田必勝さんの蹶起について一時間半語った。しかし自分が楯の会の会員だったことは話さなかった。まだ話せる気持ちになつていなかったのである。

半年後の平成二十六年八月、株式会社キャリアコンサルティングの室館社社長のご厚意で若い男女四百人の前で講演をする機会を得た。講演会場で初めて自分が楯の会元会員であることを明かし、三島由紀夫先生と森田必勝さんの話をした。そして青林堂の渡辺レイ子編集長にその話をしたところ、三島由紀夫先生九十年後四十五年を期して、本書刊行の運びとなった。

これを機会に読者が森田必勝さんのことや楯の会に興味を持っていただけたら幸いである。 村田春樹

氏のアイデンティティは楯の会にある。私ごときが勝てるどころか、足元にも及ばない。 マスキ

編集後記

涙が出るほどよくわかる。1年ほど前、ある人と口論になり、彼が私に言った。「増木さんそんなんやから捕まっただけや。」私は言い返した。「君みたいに口だけやったら絶対捕まらんわ。」俺のことを批判するなら的確に批判しろ！

活動資金の協力をお願いします

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。『M情報』は、後記のサポートしている団体にご縁のあった人の名簿を管理し、『M情報活動報告』を現在のところ毎月全国約5千(目標1万)部発送しております。

このレポートにもありますように、私も子供達に誇りある国を残すため、日々命がけで戦っています。ところが問題は活動資金。今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっています。『活動の報告書』です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願ひいたします。

原稿・同封資料の募集について

掲載ご希望の論文、情報等ございましたらどなたでも表記事務所までお送りください。また、弊紙はメールで発送いたします。

諸情報のメール配信について

『M情報』では、日々、全国各地の仲間から、または情報収集の専門家から情報が送られてきます。それをメールで転送します。内容はごよりも詳しく多種多様。「量が多過ぎ」とお叱りを受けるの

「橋下徹通信」よ

僕がやったことは100%正しいわけじゃない。やり過ぎたところはあるだろう。でも何もなかったわけじゃない。何もなかったらこんだけ批判なんか受けない。行事を回って胸に花付けて挨拶ばかりの市長なら、こんなに批判は受けなかつただろう。学者なら、やってきたことに対して的確に批判しろ。

【ご支援等の口座】

郵便振替 0060082456547、MASUKI情報デスク
三菱東京UFJ銀行 手形市支店 004248の 普通 増木重夫

○ カンパ金の主な使途

- 下記サポート団体の、
- 活動の資料等の発送費・道路、公園
- 使用申請料・交通費、通信費・資料
- ピラ等の制作費・備品購入費等
- OM情報がサポートしている主な団体
- ・NPO法人百人の会
- ・救う会大阪
- ・米国に原爆投下謝罪を求める会
- ・憲法一条の会
- ・英霊を被告にして委員会
- ・竹島を奪還する会・関西
- ・靖国神社に眠る御霊に感謝する会
- ・大阪の公教育を考える会、他

◇ 前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。

ですが、試しに一度受信してみませんか。ご不要でしたら即停止いたします。要領は次のアドレスに「メール希望」と空メールを発信名義「NPO法人百人の会」に n100prs@oregano.ocn.ne.jp